

## 第2学年2組 算数科学習指導案

第2限 2年2組教室

1 単元 たし算とひき算のひっ算 (1) (11時間完了 本時 2 / 11)

2 本時の学習

(1) 本時の目標

(2位数) + (2位数) の繰り上がりのあるたし算の筆算の仕方を考え、繰り上がりの仕組みを理解した上で正しく計算することができる。(知識・技能)

(2) 目標に迫るための手だて

数の移動がイメージできるよう、計算棒を操作して考える場を確保するとともに、声を出して手順を確認する活動を取り入れる。

(3) 展開

段階	学 習 活 動	教師の支援
導入 3 課題 2	1 本時の問題を知る。 2 本時の学習課題をつかむ。	・前時との違いから本時は一の位が10をこえる計算になることを確認する。
<b>1のくらいが10をこえるひっさんのしかたを見つけよう</b>		
展開 3 5 (12)	3 計算棒を操作し、 $34 + 28$ の筆算の仕方について個人追究した後、チーム内で共有する。 ・一の位の計算は、 $4 + 8$ だね。 ・十の位の計算は、 $3 + 2$ かな。 ・一の位が12になる場合は、どうしたらよいかな。 ・10のまとまりにして隣の位に移動させてみよう。	・12のばらの処理に困っている子供には、10の束を使うよう声をかける。 ・多様な考えに触れることができるようチーム活動を取り入れる。 ・ <b>数の移動がイメージできるよう、計算棒を操作して考える場を確保するとともに、声を出して手順を確認する活動を取り入れる。</b>
(8)	4 10のまとまりの扱い方について全体共有する。	・要点を整理しやすくするため、子供の意見から「10の束」や「十の位に移す」といったキーワードを板書する。
<b>&lt;主発問&gt; けいさんぼうをつかわずにひっさんをしよう</b>		
(15)	5 $34 + 29$ 、 $49 + 23$ 、 $17 + 76$ の筆算について個人追究した後、チームで聴き合う。 ・繰り上がりがあるから十の位の計算は $1 + 3 + 2$ になる。	・一の位から計算することで十の位の計算を書き直す手間が省けることに気付くことができるように、どちらから計算すると早く正確に解くことができるかを発問する。
整理 5	6 本時の振り返りをする。  一の位から10のまとまりを見つけて十の位に移すことを「繰り上げる」ということを知りました。繰り上がりに気を付けて計算をしたいです。	・繰り上がりについての記述が書けるようにするため、板書を見るよう促す。 ・繰り上がりの仕組みについての記述がある子供を意図的に指名し、本時のまとめとする。

(4) 評価規準

計算棒を使って十の位への繰り上がりの処理を操作でき、筆算で正しく計算することができたか。(活動3、5の記述、活動4の発表より)